

肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン事業)の補填金  
単価について

【平成26年10・11・12月分】

平成26年10・11・12月に県内の契約生産者が販売した交付対象牛に適用する肉用牛肥育経営安定特別対策事業実施要綱(平成25年4月1日付け24農畜機第5478号)第6の補填金単価(確定値)については、下記のとおりです。

なお、平成26年10・11月に販売された交付対象牛に適用する同要綱附則9の精算払の額については、下記の確定値と概算払の補填金単価の差額となります。

記

販売月	肉専用種
平成26年10月確定値 (概算払)	-
11月確定値 (概算払)	-
12月確定値	-

- 注1: 平成23年度第2四半期以降の補填金について、月毎に支払う方式としています。
- 注2: 平成26年度より、四半期の最終月以外に販売された交付対象牛について、肥育牛補填金の概算払を行うこととしています。  
精算払については、四半期の最終月の補填金交付とあわせて行います。
- 注3: 概算払は、配合飼料価格安定制度の当該四半期の補填金がないと仮定して計算した額より4,000円を控除した額としています。ただし、控除した額が1,000円未満の場合は概算払を行いません。  
なお、配合飼料価格安定制度の平成26年度第3四半期の補填状況については、下記のホームページをご参照ください。
- 一般社団法人全国配合飼料供給安定基金  
<http://www.esakikin.or.jp/oshirase20140710.pdf>
- 一般社団法人全国畜産配合飼料価格安定基金  
<http://www.tikusankikin.com/kouhujoukyou26.html>
- 一般社団法人全日本配合飼料価格畜産安定基金  
[http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01\\_01.html](http://www.zennikki.or.jp/buz/buz01_01.html)
- 注4: 補填金交付額に見合う財源が不足する場合等、上記補填金単価を減額することがあります。
- 注5: 平成26年度より、消費税抜きで算定しています。
- 注6: 交雑種及び乳用種の補填金単価については、独立行政法人農畜産業振興機構が下記のホームページで公表します。
- <http://www.alic.go.jp/operation/livestock/assistance-marukin.html>

連絡先

公益社団法人 福岡県畜産協会  
経営指導部基金事業課(担当:杉本)  
TEL 092-641-8723 FAX 092-642-1276

(参考1)

新マルキン事業における平均推定所得算定基礎(肉専用種)  
【平成26年12月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	989,811
生産コスト (B)	933,505
差額 (C) = (A) - (B)	56,306
補填金単価 (D) =  (C)  × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	989,811
主産物価格 ① = a × b	980,034
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,046
枝肉重量 (kg) b	479
副産物価格 ②	9,777
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	933,505
物財費 ③	839,481
もと畜費	469,007
飼料費	300,617
流通飼料費	298,447
麦類	12,430
とうもろこし	12,862
ふすま	11,169
かす類	10,209
配合飼料	210,132
稲わら	22,430
その他	19,215
牧草・放牧・採草費	2,170
敷料費	12,564
光熱水料及び動力費	11,762
その他の諸材料費	333
獣医師料及び医薬品費	7,810
賃借料及び料金	4,210
物件税及び公課諸負担	5,430
建物費	11,962
自動車費	5,961
農機具費	8,275
生産管理費	1,550
労働費 ④	71,641
家族	67,107
費用合計 ⑤ = ③ + ④	911,122
支払利子 ⑥	11,692
支払地代 ⑦	465
と畜経費 ⑧	10,226
参考 自己資本利子	7,952
自作地地代	2,508

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

(参考2)

新マルキン事業における平均推定所得算定基礎  
【平成26年10月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	963,537
生産コスト (B)	932,245
差額 (C) = (A) - (B)	31,292
補填金単価 (確定値) (D) =  C  × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	963,537
主産物価格 ① = a × b	953,760 ※
枝肉市場価格 (円/kg) a	1,987 ※
枝肉重量 (kg) b	480 ※
副産物価格 ②	9,777
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	932,245
物財費 ③	837,689
もと畜費	469,007 ※
飼料費	298,887
流通飼料費	296,717
麦類	12,370
とうもろこし	13,046
ふすま	11,120
かす類	10,143
配合飼料	208,500
稲わら	22,339
その他	19,199
牧草・放牧・採草費	2,170
敷料費	12,564
光熱水料及び動力費	11,762
その他の諸材料費	333
獣医師料及び医薬品費	7,810
賃借料及び料金	4,210
物件税及び公課諸負担	5,430
建物費	11,906
自動車費	5,955
農機具費	8,275
生産管理費	1,550
労働費 ④	71,641
家族	67,107 ※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	909,330
支払利子 ⑥	11,692
支払地代 ⑦	465
と畜経費 ⑧	10,758

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

※ 県独自に算定を実施。

## (参考3)

新マルキン事業における平均推定所得算定基礎  
【平成26年11月】

(単位：円/頭)

区 分	肉専用種
粗収益 (A)	971,859
生産コスト (B)	932,720
差額 (C) = (A) - (B)	39,139
補填金単価 (確定値) (D) =  C  × 0.8	—

粗収益 (A) = ① + ②	971,859
主産物価格 ① = a × b	962,082 ※
枝肉市場価格 (円/kg) a	2,034 ※
枝肉重量 (kg) b	473 ※
副産物価格 ②	9,777
生産コスト (B) = ⑤ + ⑥ + ⑦ + ⑧	932,720
物財費 ③	838,699
もと畜費	469,007 ※
飼料費	299,865
流通飼料費	297,695
麦類	12,400
とうもろこし	12,959
ふすま	11,149
かす類	10,165
配合飼料	209,407
稲わら	22,384
その他	19,231
牧草・放牧・採草費	2,170
敷料費	12,564
光熱水料及び動力費	11,772
その他の諸材料費	333
獣医師料及び医薬品費	7,810
賃借料及び料金	4,210
物件税及び公課諸負担	5,430
建物費	11,928
自動車費	5,955
農機具費	8,275
生産管理費	1,550
労働費 ④	71,641
家族	67,107 ※
費用合計 ⑤ = ③ + ④	910,340
支払利子 ⑥	11,692
支払地代 ⑦	465
と畜経費 ⑧	10,223

注1：補填金単価は100円未満切り捨て。

注2：平成26年度より、消費税抜きで算定。

※ 県独自に算定を実施。

(参考4)

## 主産物価格及びもと畜費の算定

### 1 主産物価格の算定

主産物価格は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県からの出荷状況を考慮し、選定した以下の卸売市場における食肉流通統計（農林水産省公表）の取引データと本県における相対取引のデータをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる卸売市場】

東京都中央卸売市場、大阪市中央卸売市場、神戸市中央卸売市場  
福岡市中央卸売市場、兵庫県加古川食肉地方卸売市場

### 2 もと畜費の算定

もと畜費は、牛個体識別全国データベースをもとに、本県への導入状況を考慮し、選定した以下の家畜市場における肉用子牛取引情報（（独）農畜産業振興機構公表）の取引データをもとに算定しています。

#### 【算定に用いる家畜市場】

ホクレン南北海道家畜市場、ホクレン十勝地区家畜市場、山口中央家畜市場、中央家畜市場、五島家畜市場、宇久小値賀家畜市場、壱岐家畜市場、平戸口中央家畜市場、熊本県家畜市場、南阿蘇家畜市場、豊後豊肥家畜市場、豊後玖珠家畜市場、都城地域家畜市場、小林地域家畜市場、児湯地域家畜市場、高千穂家畜市場、薩摩中央家畜市場、曾於中央家畜市場、種子島中央家畜市場、徳之島中央家畜市場、沖永良部家畜市場、与論家畜市場、伊江村家畜市場、宮古家畜市場、今帰仁家畜市場